







芳賀青年の家 日誌

<p>3月13日</p>		<p>1月16日以降、中断していた主催事業「ろくろで作る益子焼」の釉薬がけを、講師の先生方に御協力いただき、実施しました。</p>
<p>3月13日</p>		<p>講師の萩原芳典氏の釉薬がけの実演の後、参加者が作業を行いました。先生が手際よく釉薬をかけていく姿に感嘆の声が挙がっていました。</p>
<p>3月13日</p>		<p>参加者それぞれが焼き上がりをイメージしながら釉薬を選び、かけていました。先生に実演で手順についても説明しながら様々なかけ方を見せていただけたこともあり、参加者はスムーズに作業に取り組んでいました。</p>
<p>3月13日</p>		<p>絵付け・釉薬がけ終了後、講師の萩原芳雄氏に窯詰めを行っていただきました。窯の中の温度が安定するよう作品を丁寧に詰めていただきました。</p>
<p>3月13日</p>		<p>今年度は鑑賞会を実施することはできませんが、参加者の皆さん、素敵な作品が焼き上がるのを楽しみにしてくださいね。 ※作品の引き取り開始は3月25日(木)の午前9時から予定しています。</p>
<p>3月16日</p>		<p>先日紹介した正面玄関前に植えてある「ハクモクレン」がきれいに咲きました。 近くに寄ると、とても上品な香りがして心が和みました。</p>
<p>3月16日</p>		<p>「ユキヤナギ」が小さくきれいな花を咲かせました。 葉がヤナギに似て、白い多数の花が、雪をかぶったように見えることからこの名が付けられたそうです。</p>